【作成例】

洪水時等の避難確保計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【施設名： | 施設名 | 】 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 令和 | **○○** | 年 | **○○** | 月 | **○○** | 日 作成 |

－　目　次　－

１　計画の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　計画の報告　・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

様式１

３　計画の適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・ 1

　　施設周辺の避難地図　・・・・・・・・・・・・ 2

別紙１

４　防災体制　（洪水の場合） ・・・・・・・・・・ 3

様式２

５　情報収集、情報伝達　・・・・・・・・・・・・ ６

様式３

６　避難誘導　・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

様式４

７　避難の確保を図るための施設の整備　・・・・・ ８

様式５

８　防災教育及び訓練の実施　・・・・・・・・・・ ８

９　自衛水防組織の業務に関する事項　・・・・・・ ９

様式６

別添　「自衛水防組織活動要領」　　 ・・・・・ 10

別表１「自衛水防組織の編成と任務」 ・・・・・ 11

別表２「自衛水防組織装備品リスト」 ・・・・・ 11

**１　計画の目的**

様式１

この計画は、水防法第１５条の３第１項に基づくものであり、本施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

**２　計画の報告**

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第１５条の３第２項に基づき、遅滞なく、当該計画を小松市長へ報告する。

**３　計画の適用範囲**

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

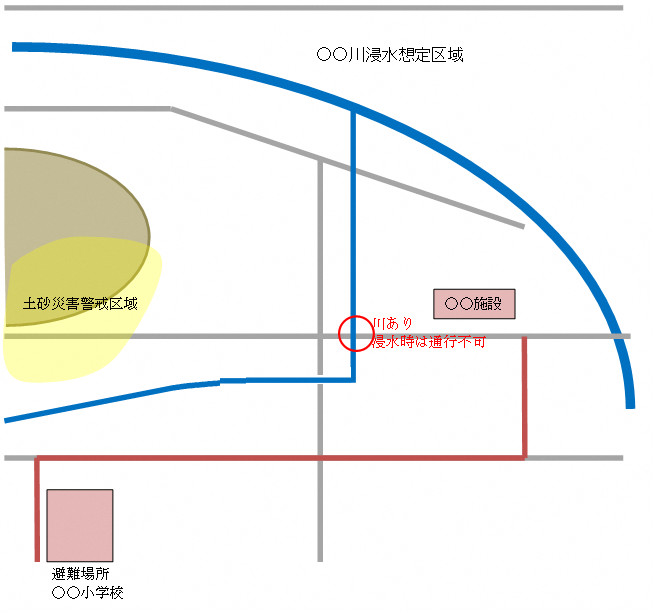
　【施設の状況】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 人　　　　　数 | | | | | | | |
| 昼間・夜間 | | | | 休日 | | | |
| 利用者 | | 施設職員 | | 利用者 | | 施設職員 | |
| 昼間 | | 昼間 | | 休日 | | 休日 | |
| **３０** | 名 | **１０** | 名 |
| 夜間 | | 夜間 | | **２０** | 名 | **５** | 名 |
| **２０** | 名 | **３** | 名 |

**【施設周辺の避難経路図】**

別紙１

洪水時等の避難場所は、洪水ハザードマップの想定浸水区域および浸水深から、以下の場所とする。



避難経路図

**○○施設**

**４　防災体制（洪水の場合）**

様式２

連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期

・施設内全体の避難誘導

→避難誘導要員

☑のいずれかに該当する場合

☑ 避難指示の発令

□ ○○川 氾濫危険情報発表（手取川，梯川[国管理区間]，八丁川，鍋谷川，前川）

□ 洪水キキクルで○○川が警戒レベル４相当（紫色）となったとき（上記以外の河川）

・洪水予報等の情報収集

・使用する資器材の準備

・保護者への事前連絡

・周辺住民事前協力依頼

・要配慮者の避難誘導

→情報収集

伝達要員

→避難誘導要員

→情報収集

伝達要員

→情報収集

伝達要員

→避難誘導要員

☑のいずれかに該当する場合

☑ 高齢者等避難の発令

☑ 洪水警報報発表

□ ○○川 氾濫警戒情報発表（手取川，梯川[国管理区間]，八丁川，鍋谷川，前川）

□ 洪水キキクルで○○川が警戒レベル３相当（赤色）となったとき（上記以外の河川）

洪水予報等の情報収集

対応要員

活動内容

体　制

情報収集

伝達要員

☑のいずれかに該当する場合

☑ 早期注意情報で警報級の可能性

☑ 洪水注意報発表

□ ○○川 氾濫注意情報発表（手取川，梯川[国管理区間]，八丁川，鍋谷川，前川）

□ 洪水キキクルで○○川が警戒レベル２相当（黄色）となったとき（上記以外の河川）

非常体制確立

警戒体制確立

注意体制確立

**５　情報収集、情報伝達**

様式３

（１）情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 収集する情報 | 収集方法 |
| 気象情報 | こまつ防災アプリ，小松市公式LINE，テレビ，ラジオ  インターネット  　→ 気象庁ホームページ  （気象警報・注意報，早期注意情報（警報級の可能性） |
| 洪水予報・河川水位 | こまつ防災アプリ，小松市公式LINE  インターネット  → 石川県河川総合情報システム |
| 洪水キキクル | インターネット  → 気象庁ホームページ （キキクル） |
| 高齢者等避難、避難指示 | 防災行政無線，こまつ防災アプリ，小松市公式LINE，テレビ，ラジオ  インターネット  → 小松市ホームページ |

（２）情報伝達

①「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。

②徒歩や公共交通機関等を用いての広域避難が困難な者がいる場合には、避難困難者の状態や人数について小松市に報告する。

**６　避難誘導**

様式４

避難誘導については、次のとおり行う。

（１）避難場所

避難場所は下表のとおりとする。また、悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険もともなうことから、施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊のおそれがない場合、屋内安全確保を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。

（２）避難経路

避難場所までの避難経路については、「別紙１　避難経路図」のとおりとする。

（３）避難誘導

避難場所までの移動距離及び移動手段は、以下のとおりとする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名　称 | 移動距離 | | | 移動手段  ✓ | | |
| **避難場所** | **○○小学校** | （ | **５０0** | ）m | □徒歩 | | |
| □車両（  ✓ | ２ | ）台 |
| **屋内安全確保** | **中央フロア** |  | | |  | | |

**７　避難の確保を図るための施設の整備**

様式５

様式５

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。

これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材一覧

|  |  |
| --- | --- |
| **使用する設備または資器材**  ✓  ✓ | |
| **情報収集**  **・伝達** | □テレビ　□ラジオ　□タブレット　□ファックス  ✓  ✓  ✓  □携帯電話 □懐中電灯 □電池 □携帯電話用バッテリー  ✓  ✓ |
| **避難誘導** | □名簿（従業員、施設利用者）　□案内旗　□タブレット　□携帯電話  ✓  ✓  □懐中電灯　□携帯用拡声器　□電池式照明器具　□電池  □携帯電話用バッテリー　□ライフジャケット　□蛍光塗料  ✓ |
| **施設内の**  **一時避難** | □水（１人あたり **２** ℓ）　□食料（１人あたり **２** 食分）  ✓  □寝具　　　□防寒具　　 □おむつ、おしりふき　□常備薬  □ウェットティッシュ　　 □ゴミ袋　　　　　　　□タオル |
| **浸水を防ぐための対策** | □土嚢　　□止水板  ✓  □その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| **その他必要な事項** | □ |

**８　防災教育及び訓練の実施**

・毎年 **４** 月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。

・毎年 **５** 月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

・その他、年間の教育及び訓練計画を毎年 ４ 月に作成する。

・訓練実施後は，小松市役所**○○**課に実施報告書を提出する。

**９　自衛水防組織の業務に関する事項**

様式６

（１）別添「自衛水防組織活動要領」に基づき自衛水防組織を設置する。

（２）自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。

①　毎年　**４**月に新たに自衛水防組織の構成員となった従業員を対象として研修を実施する。

②　毎年　**５**月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

（３）自衛水防組織の報告

自衛水防組織を組織または変更をしたときは、水防法第１５条の３第２項に基づき、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

（自衛水防組織の編成）

**別添　「自衛水防組織活動要領」**

第１条　管理権限者は、洪水時等において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

２　自衛水防組織には、統括管理者を置く。

(１)　統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

(２)　統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

３　管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

４　自衛水防組織に、班を置く。

(１)　班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

(２)　各班の任務は、**別表１「自衛水防組織の編成と任務」**に掲げる任務とする。

(３)　防災センター（最低限、通信設備を有するものとする）を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

（自衛水防組織の運用）

第４条　管理権限者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

２　特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権限者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

３　管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第５条　管理権限者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

(１)　自衛水防組織の装備品は、**別表２「自衛水防組織装備品リスト」**のとおりとする。

(２)　自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第６条　自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

**別表１　「自衛水防組織の編成と任務」**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 管理権限者 | （ | **氏　名** | ） | （代行者 | **氏　名** | ） |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **総括・**  **情報班** | 役職及び氏名 | | | | 任　務  ✓ |
| 班長（ | **氏　名** | | ） | □自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録  ✓  ✓  □館内放送等による避難の呼び掛け  ✓  □洪水予報等の情報の収集  □関係者及び関係機関との連絡 |
| 班員（ | **３** | ）名 | |
| ・  ・  ・ | **氏　名 １**  **氏　名 ２**  **氏　名 ３** | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **避難**  **誘導班** | 役職及び氏名 | | | | 任　務  ✓ |
| 班長（ | **氏　名** | | ） | □避難誘導の実施  ✓  □未避難者、要救助者の確認 |
| 班員（ | **４** | ）名 | |
| ・  ・  ・  ・ | **氏　名　１**  **氏　名　２**  **氏　名　３**  **氏　名　４** | | |

**別表２　「自衛水防組織装備品リスト」**

|  |  |
| --- | --- |
| 任務 | 装備品 |
| **総括・情報班** | 名簿（従業員、利用者等）  情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、  携帯電話等）  照明器具（懐中電灯、投光機等） |
| **避難誘導班** | 名簿（従業員、利用者等）  誘導の標識（案内旗等）  情報収集及び伝達機器  （タブレット、トランシーバー、携帯電話等）  懐中電灯  携帯用拡声器  誘導用ライフジャケット  蛍光塗料 |